

ナンバーワン! オンリーワン! エブリワン!

福島市

本市は、平成30年度で市制施行111周年を迎え、4月1日には「中核市ふくしま」が誕生します。この記念すべき「トリプルワン(111)」に合わせて、ナンバーワン! オンリーワン! な本市の魅力をご紹介します。市民の皆さん全員(エブリワン!)で魅力を再発見してみましょう!



1 ナンバーワン 福島市のナンバーワンたちをご紹介します!

長さ12m、重さは約2t
日本一の大わらじ

本市の名物「大わらじ」。毎年2月に開催される「信夫三山暁まいり」は、五穀豊穡と健康を祈願し、信夫山の羽黒神社に大わらじ(片足分)を奉納します。江戸時代から三百有余年にわたり受け継がれた伝統あるお祭りです。毎年夏に開催される「福島わらじまつり」でも大わらじ(片足分)を奉納し、「暁まいり」に奉納された大わらじと合わせて一足(両足分)とすることで、より一層の健脚を祈願する意味も込められています。

●豆知識●
市役所一階ロビーに、大わらじの4分の1サイズの紅白わらじを展示しています。これは、福島商工会議所100周年記念事業として設置されました。ここでフォトジェニックな1枚を撮影しちゃおう!

水質が最も良好な河川
清流 荒川

市内西部を流れる荒川は、阿武隈川水系の一級河川で、7年連続で「水質が最も良好な河川」になっており、日本を代表する清らかな川です。地域の河川愛護団体や住民によるクリーンアップなどの活動が水質や景観の保全を支えています。

日本一標高が高い場所にある
浄土平天文台

公開天文台としては、日本一標高が高い浄土平天文台。周辺の空気が清浄で光害も少ないことから、全国でも屈指のスターウォッチングポイントです。

■開館期間/4月上旬~11月中旬
■休館日/月曜日(祝日の場合は翌平日)
※夜間開館期間など詳しくは天文台ホームページをご覧ください。

■問/開館期間中: 浄土平天文台 ☎0242-64-2108
閉館期間中: 観光コンベンション推進室 ☎525-3722

ももりんが浄土平天文台に出掛けて紹介する動画「モモっと大好きふくしま ももりんが行く! Vol.7」好評配信中!

温泉総選挙2017環境大臣賞受賞
高湯温泉

高湯温泉は、地域が一体となつての、湯治場としての雰囲気を残したまちづくりへの取り組み、温泉の保護と適正利用の推進が評価され、温泉総選挙2017で環境大臣賞を受賞しました。

■問/高湯温泉観光協会 ☎591-1125

高湯温泉観光協会
会長 遠藤淳一さん

高湯の白濁の温泉は免疫力を高め、美肌になる調査結果が出ています。今回の受賞で、この温泉を安全に提供し、健康増進を図る取り組みが認められたことをとてもうれしく思っています。

●豆知識●
高湯温泉の白濁湯は、入浴者に湯がかき回されることで白くなっています。そのため、朝一番のお湯は濁りが少なく、湯桶を清掃した翌日は、お湯が透明に! 透明なお湯を求める方もいらっしゃるかと。

市民はおいしいものを知っている?
福島市の支出額ナンバーワン!

平成29年(1~12月の月次報告の合計)総務省統計局「家計調査(2人以上の世帯)」の1世帯当たり支出額ランキングで1位のものを紹介。おいしいからこそお金をかけて買っているものばかり!?

卵 年間11,719円
平成27年から3年連続の1位を獲得。卵1パック(10個入り)を200円だとすると、年間約58パック(卵580個)購入している計算に!

清酒 年間10,476円
全国新酒鑑評会で福島県の日本酒が金賞受賞数5年連続日本一という快挙もあり、清酒の支出額が平成28年の3位から順位を上げて1位に。おいしい福島のお酒を贈答する方も増えたのではないのでしょうか。

モモ 年間6,228円
福島市と言えばモモ! 2位は甲府市で年間4,259円。本市が約2千円の差をつけているのは、やはり市外の方に贈答品としてモモを購入するためでしょうか。

納豆 年間6,733円
2位と千円以上の差をつけて堂々の1位。本市へ転入してきた方から「福島市のお店は納豆コーナーが広くて種類も多い」との声もあり、それだけ市民の需要が高いことがうかがえます。

豚肉 年間35,674円
他にも...

食塩 年間660円

切り花 年間14,844円

1 オンリーワン 4月1日、「中核市ふくしま」誕生で、市の特色や実情を踏まえたオンリーワンな新たなまちづくりがスタート!

そもそも...
中核市ってなに?

人口規模が比較的大きな都市の権限を強化し、できる限り住民の身近なところで行政サービスを提供できるようにするものです。平成30年4月1日には、全国の中核市は本市を含めて54市になります。

中核市になると、保健衛生や福祉、環境分野など、県の事務権限の一部が移譲されます。

国の仕事	県から市に移る仕事 ■保健所の業務 ■保育所・特別養護老人ホームなどの社会福祉施設の設置認可、指導監査 ■大気汚染・産業廃棄物処理対策 など
福島県の仕事	
福島市の仕事	

■中核市ふくしまが目指す「すがた」

- ①市民のいのちと健康を守る拠点の構築
生涯を通じた健康づくり、保健衛生、健康危機管理の拠点として保健所を設置し、総合的な保健衛生サービスを提供することで、安全・安心で生涯をいきいきと暮らせるまちを目指します。
- ②市民サービスの向上
事務処理の迅速化、相談窓口の一本化により市民の利便性の向上を図るとともに、市の特色・実情を踏まえたまちづくりで魅力・活力あるまちを目指します。

- ③県北地方の中心都市として広域連携を推進
広域連携により圏域の社会経済の活性化を進め、将来にわたって持続可能な社会をつくるため、連携中枢都市圏の構築を目指します。
- ※連携中枢都市圏構想...圏域の中心市(中核市)が、近隣の市町村と連携し、それぞれの強みを生かし、人口減少・少子高齢社会においても、活力ある社会経済を維持するための拠点の形成を目指す構想。